

ブ レ ー カ
(油圧ブレーカユニット、空圧ブレーカユニット)
特定自主検査記録表

証明番号 4 年 1 月 19 日 様式SR-EB-01-E
証明番号 11-149 標章 No. 1405398

3 年 間 保 存

- ① 装着する機械（ベースマシン）の記録表は、様式SR-EHC等を使用すること。
② 検査済機械（ベースマシン）に装着して検査をする場合は、その情報を記入すること。

メーカー名 東 空		管理 No. YC-048	(検査済装着機械) メーカー名 ヤマ-		使用者住所 〇城村字久場1991番地							
型式 TNB-5M		型式 V1045-6		氏名又は名称 町田機工株式会社								
製造番号 3232		製造番号 69464		機械管理者氏名 町田宗才								
性能 300 kg		検査年月 R3 年 11 月		検査業者登録No. 第 1 7 号								
検査実施場所 中城 (宮)				検査業者又は事業者 住所・名称 沖縄市登川3458番地								
検査年月日 R4 年 1 月 19 日				検査者氏名 平川善之								
責任者												
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良 補修	区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果 良 不良 補修	
ブレーカ本体	1	ブレーカ部	封入ガス圧力、ガス漏れ 接続部緩み (空圧式)、取付	目視 石けん水 圧力計	✓	ブラケット等	11	ブラケット	亀裂、変形、摩耗	目視	✓	
	2	シリンダー	油漏れ、ピン穴き裂、 ブラケットはめ合い部摩耗、 取付	目視	✓		12	取付けピン、 プッシュ	亀裂、変形、摩耗、 ピンシール損傷、取付	目視	✓	
	3	ブレーカ部	亀裂、損傷、摩耗、取付、 チゼルしゅう動部プッシュ摩耗、 油漏れ、給脂	目視 スケール	✓		13	緩衝材	亀裂、摩耗、劣化、取付	目視	✓	
	4	アキュムレーター	打撃の異常 (ホース振れ、 むら打ち、異音)、油漏れ	目視 聴診	✓		14	フィルター エレメント、 ケース	*汚れ・目詰まり・損傷、 油汚れ、取付	目視	---	
	5	チゼル保持ピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓		15	配管 (ホース 類、高圧パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、 ねじれ、油漏れ、取付	目視	✓	
	6	チゼル保持ピン 用抜止めピン	亀裂、変形、摩耗	目視 スケール	✓		16	リリーフバルブ	作動、油漏れ、取付	目視 操作	✓	
	7	チゼル	亀裂、変形、摩耗	目視	✓		17	アキュムレーター	打撃の異常 (ホース振れ、むら 打ち、異音)、*ガス封入圧	目視 聴診 圧力計	---	
空圧装置 (空圧式)	8	エアホース	損傷、ひび割れ、劣化、 緩み、エア漏れ、クランプ	目視 聴診	---	表示 操作	18	表示板	損傷、取付	目視	✓	
	9	操作弁 ラインオイル	作動、油量、汚れ	目視 操作	---		19	操作レバー等	ストローク、おた	目視 操作	✓	
	10					---	安全 車体	20	飛来物 防護設備	亀裂、変形、腐食、取付	目視 探傷器	✓
					---	21						
						---	総合	22	総合テスト	作動、異常振動、異音、 異常発熱	目視 聴診 触診	✓

事業者 等 への 要 請	次回特定自主検査実施年月 R5 年 1 月											
	グリス給脂を行って下さい。											
補 修 等 の 措 置 内 容												
照合No.	補修箇所及び不具合状況				補修年月日		補修実施内容					
3	グリス給脂不足				R4.1/19		グリス給脂					
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。											
	2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。											
	3. 検査内容の項目に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。											
	4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。又補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。											
	記 号	交換 ×	分解 交換 ⊗	修理 △	調整 A	締付 T	清掃 C	給油 水 L	該当 なし -			

油圧ショベル(クローラ式)

特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

証明番号 〇 年 11 月 29 日 様式SR-EHC-01-E

【建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図るための指針に基づく検査共用】

証明番号 11-149 検査 No. 1405398

メーカー名		ヤンマー		管理 No.		YT-195		使用者住所 氏名又は名称		P城村字久場1991番地 町田機工株式会社	
型式		V1045-6A		稼働時間		963 h		機械管理者氏名		町田 宗才	
製造番号		6G464		性能		0.14 m³		検査業者登録番号		第 17 号	
検査実施場所		うさぎ石川		検査年月日		R3 年 11 月 29 日		検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名		沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 八重子	
検査者氏名		平川 善之									

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修内容	
					良	不良		
エンジン	1	本体	a *始動性 かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動 b *回転の状態 アクセルの作動、回転具合 アイドリング回転(960 min⁻¹)、無負荷最高回転(2150 min⁻¹) c *排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ d *エアクリナー ケースの亀裂・変形・緩み、エレメントの汚れ・損傷、油圧 e *締付け シリンダーヘッド、マニホールドの取付 f *弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・吸最小 mm)(排最大 mm・排最小 mm) g *圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 h *噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 i *噴霧状態 噴霧状態 良○・不良× 1 2 3 4 5 6 j *過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ k *エンジンマウント ブラケットの亀裂・変形・緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、聴診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター 目視、聴診 目視、レンチ等	☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	電子制御	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
	2	*潤滑装置	油圧、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ・損傷	目視	☒	☐		
	3	*燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷・老化、エレメントの汚れ・目詰まり	目視	☒	☐		
	4	*冷却装置	水圧、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターキャップ損傷・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、傾斜)、ファン・カバー・ダクト等の亀裂・損傷・変形・取付	目視、触診、スケール	☒	☐		
	5	*電気装置	充電装置損傷、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電圧電圧計	☒	☐		
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	☒	☐		
	7							
	走行装置	8	駆動輪、遊動輪	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	☒	☐	
		9	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器、スケール、バネ	☒	☐	
		10	履帯	シュー亀裂・変形・摩耗、取付、リンク・ブッシュ亀裂・摩耗、ピン長、たわみ、ピン抜け、ゴムパット(欠け・老化・摩耗)	目視、スケール、探傷器	☒	☐	
		11	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老化・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	☒	☐	
		12	履帯調整装置	作動、調整ボルト・ナット・ロッド・ヨーの亀裂・変形、腐食・摩耗、シリンダー油漏れ	目視、操作、探傷器	☒	☐	
		13	走行減速機	異音、異常発熱、ケース亀裂・損傷、取付、油圧、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	☒	☐	
		14						
制動	15	駐車ブレーキ	効き	目視、操作	☒	☐		
	16							
作業装置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	亀裂、変形、摩耗、たわみ、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	☒	☐		
	18	ツース	脱落、たわみ、摩耗	目視、触診	☒	☐		
	19	ブレード	亀裂、変形、摩耗、たわみ、取付	目視、操作、探傷器	☒	☐		
	20	フック	変形、摩耗、亀裂、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ノギス	☒	☐		
	21							
油圧装置	22	作動油タンク	*亀裂・汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブリーザー目詰まり、取付	目視、石けん水	☒	☐		
	23	フィルター	*汚れ・目詰まり、油漏れ	目視、触診	☒	☐		
	24	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂、損傷、老化、ひび割れ、たわみ、油漏れ、取付	目視、触診	☒	☐		
	25	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量・吐出圧	目視、聴診、触診、テスター	☒	☐		
	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、触診、テスター	☒	☐		
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮緩急、打板、亀裂、曲がり、振動	目視、操作、スケール、タイマー	☒	☐		

3 年 間 保 存

YT-195

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果 良 不良	補 修 内 容
油 圧 装 置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓	
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓	
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓	
	31					
操 作	32	操作レバー	ストローク、おた	目視、操作、スケール	✓	
	33					
安 全 装 置 ・ 車 体 関 係 等	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓	
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓	
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、 トルクレンチ	✓	
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油圧、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓	
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化		✓	
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓	
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、 ガラスのがた・損傷		✓	
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓	
	42	座席 (調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓	
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓	
	44	表示板	損傷、取付		✓	
総 合	45	灯火装置、警音器、方向指示器 感振器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、凝水	目視、操作	✓	
	46	計器類	作動	目視	✓	
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影、取付		✓	
	48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓	
	49					
排 装 置	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓	
	51	** 一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、 排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	✓	

次回特定自主検査実施年月 R4 年 11 月
 オイル等は一使用前に点検して下さい。

事業者への等

補 修 等 の 措 置 内 容			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補 修 実 施 内 容
1	エアークリーナー汚れ	R3.11/29	エアーフィルター清掃
22	作動油不足	7	作動油補給

備 考

1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。
 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。
 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。
 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。
 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。

記 号	交 換	分 解 交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水	該 当 な し
	×	⊗	△	A	T	C	L	—